

平成 26 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2014年4月～2015年3月

※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、HP等で公表  
します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満  
たないもの、報告書が2年連続して未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧  
告させていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。

1. 学校概要

学校名 大和町立鶴巣小学校

種別  保育園・幼稚園  小学校  小中一貫教育  
 中学校  高等学校  中高一貫教育  
 教員養成  技術/職業教育  
 特別支援学校  その他 ( )

住所 〒981-3417  
宮城県黒川郡大和町鶴巣北目大崎字岸172

E-mail : tsurusu-e@taiwa-tk.ed.jp  
 Website : http://www.taiwa-tk.ed.jp/tsurusu-e/

児童生徒数：男子 50 名 女子 43 名 合計 93 名  
 児童・生徒の年齢 6歳～12歳

2. 担当者 ※公表しません

3. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか（栽培，地域の川の魚保護・飼育）

## 4. 活動内容

### (1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

1. 5年生：総合的な学習の時間「ハロー！ライスプロジェクト 鶴巢っ子夢田んぼ」  
45時間実施

5年生が中心になり、地域の方をゲストティーチャーとして、学校田で稲を育て、収穫し、食する。

4月の苗見学、5月の田植え、6月の除草、毎月の生育調査、9月の稲刈り、棒掛け、10月の脱穀等を手作業で体験させることにより、その手間と苦勞、天気に左右される不安さ、米の重さ、人と協力して作業する大切さ、一体感、様々な人の知識にふれさせた。そして11月の収穫祭で、関わった人みんなと餅つきをして食べて米を味わい、地域に伝わる伝統芸能「鶴巢音頭」を踊ったり歌ったりして、祝った。

また、田んぼの生物や川が多く土地が平らなどの地域の環境について調べさせ、鶴巢が米作りに適している土地であることを学ばせ、さらに農業にかかる費用や収入について話を聞く機会をもち、自分の将来や鶴巢の未来を考えさせてきた。

12月にはスカイプを利用して韓国の小学生と交流し「韓国でも日本でもお米を大切にしている」と理解し合った。2月には下の学年に、体験の内容と自分なりにつかんだ農作業のコツをアドバイスした。

2. 4年生：総合的な学習の時間「鶴巢の自然を探ろう～川の生き物を調べよう～」  
41時間実施

4年生が宮城教育大学自然フィールドワーク研究会と連携して水生生物の調査と絶滅危惧種の保護活動を行っている。地図、本、パソコンで調べるだけでなく、宮城教育大学に協力を仰ぎ、教授と学生20名ほどに出前授業・調査活動を一緒にしてもらった。

6月に鶴巢の川にいる魚について名前や生態系等を学び、6月と9月の2回実際に川に入って網や釣り竿で魚を捕り、事後の振り返りを行う。捕った魚は川に放したり、学校のロビーに置いた水槽で飼育・観察したりしている。

3. 3,6年生：総合的な学習の時間「鶴巢の知恵や技を知ろう～蕎麦について調べよう～」  
38時間実施

地域の特産品である「蕎麦」に関するカリキュラムを組み、環境教育と食育を融合させた活動を行っている。

鶴巢の名物の一つとして「鶴巢蕎麦」がある。3年生が学校園に蕎麦を植えて育て、6年生が12月に蕎麦打ちをし、3・6年生が食する。

### (2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）  
 時間外活動の時間を使用  
 ユネスコクラブの活動として実施  
 その他（ ）